



18 赤塚第二中学校

所在地 〒175-0094
板橋区成増三丁目18番1号
電話 03(3939)0247
FAX 03(5998)4996

HPアドレス <http://www.ita.ed.jp/edu/aka2jh/>
校長名 木村 知広



学校概要

本校は、平成25年4月から新校舎となり、板橋区では初めての「教科センター方式の学校」としてスタートしました。

「教科センター方式の学校」とは、音楽室や理科室などの従来の特別教室だけでなく、国語や社会などすべての教科専用の学習教室があり、生徒は時間割に合わせて教室を移動し、専門性の高い学習環境の中で学習する学校です。生徒は自ら行動し、よりよい環境で授業を受けることを通して、学習習慣を身に付けるとともに、基礎的・基本的な学力や、それらを活用して課題を解決する力を育てています。

本校では、教科センター方式の特色を生かし、協働的・探究的な学習や体験的な活動を充実させながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指しています。一人一台端末等のICTも効果的に活用し、生徒が自ら考え、対話し、学びを深める授業づくりを進めています。また、板橋区の教育施策を踏まえ、本校独自の「赤二型学力」を柱として、これからの社会を生きるために必要な力を育成しています。

さらに、これまで築き上げてきた落ち着いた生活態度や「集団美」の伝統を大切にしながら、生徒が自分たちの学校生活をよりよくするために課題を見だし、仲間と協力して解決していく自治的な活動にも力を入れています。伝統を受け継ぎながら、よりよい学校を自分たちの手で創造していく学校を目指しています。

教育目標

教育基本法の精神をふまえ、東京都教育委員会及び板橋区教育委員会の教育目標にのっとり、次の目標を定めています。

- 1「立志」：自ら志を立て、自ら考え判断し行動することのできる生徒を育てる。
- 2「鍛錬」：心身ともに健康で、努力を惜しまず、切磋琢磨し合う生徒を育てる。
- 3「協調」：規範意識を身に付け、他を思いやりながら協力し合う生徒を育てる。



沿革

- | | | |
|-------|----------|---------------------------------|
| 昭和24年 | 9月10日 | 現在地に新校舎落成、移転 |
| 35年 | 5月24日 | 体育館竣工 |
| 37年 | 8月31日 | 鉄筋校舎8教室落成 |
| 45年 | 2月4日 | 都知事表彰「首都美化運動に貢献した学校」 |
| 50年 | 2月8日 | 現校舎の全容が完成 |
| 平成 | 8年12月2日 | 地域開放教室設置 |
| | 9年9月1日 | ランチルーム設置 |
| | 22年4月1日 | 校舎改築着工 |
| | 23年4月1日 | 指導力向上特別研究指定校(～平成25年度) |
| | 25年4月1日 | 新校舎(教科センター方式)使用開始 |
| | 25年10月1日 | 新校舎の全容が完成 |
| | 26年4月1日 | 指導力向上研究推進校・ICT授業研究実証実験校 |
| | 29年11月4日 | 70周年記念式典 |
| | 30年11月9日 | JAET学校情報先進校表彰 |
| | 31年4月1日 | 板橋区ICT推進校指定 |
| 令和 | 2年2月12日 | 東京都教育委員会表彰
健康づくり優秀学校(学校給食分野) |
| | 4年4月1日 | 教科教室型研究校 |
| | 6年4月1日 | 主体的な学習に取り組む基盤研究推進校 |

学習意欲を高め、確かな学力を育成する授業

赤塚第二中学校では、教科センター方式の特色を生かし、生徒の学習意欲を高め、主体的に学ぶ力を育成しています。教科教室を移動する際に必ず通る各教科の「学びのひろば」には、教科リーダーの生徒たちが工夫を凝らした作品や学習成果が掲示されています。生徒は移動や休み時間にもこれらに触れ、次の学習への興味・関心を高めています。

授業では、学習の目標や見通しを明確にするとともに、生徒同士の対話や協働的な学習を取り入れ、生徒が自ら考え、学びを深める授業づくりを進めています。一人一台端末をはじめとするICT機器も効果的に活用し、学習内容の理解を深め、学んだことを活用する力を育成しています。

また、「赤二型学力」という本校独自の学力モデルを策定しています。これからの社会を生きるために必要な力を4つの力として整理し、各教科等の学習や学校生活の中で意識的に育成しています。3年間の学びを通して、生徒が自ら学び、考え、他者と協働しながら、社会の中でよりよく生きるための力を育てています。



先輩の背中を見て、成長する学校

赤塚第二中学校では、教科センター方式の学校の特色を生かし、日常の学校生活の中で異学年の生徒が自然に関わり合っています。毎時間の移動では他学年の先輩たちとすれ違い、教科教室では先輩たちが学ぶ姿を身近に感じることができます。全校朝礼や学校行事では、上級生が下級生に話の聞き方や集団としての行動を示します。また、委員会活動や部活動、教科リーダー会など、学年を越えて協力する機会も多くあります。上級生は自らの行動で学校の伝統を示し、下級生はその姿から学び、次の学年へと成長していきます。

本校の伝統である「安心・安全」「集団美」は、教員から一方的に教えられるものではなく、生徒が互いの姿から学び、受け継いでいくものです。先輩の背中を見て成長した生徒が、やがて後輩にとっての目標となる——そのような学びの循環が、赤塚第二中学校の大きな特色です。

